

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありすく〜るジュニア		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 6日		～ 令和7年 10月末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 29日		～ 令和7年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 25日	(最終更新)	令和8年 3月 10日

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ありパークなどの広い屋外環境を活用した支援ができている	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動を積極的に取り入れ、のびのびとした活動機会を確保している ・室内外の活動バランスを考えたプログラム構成を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や活動ツールの充実 ・季節に応じた屋外プログラムの拡充
2	プログラムの柔軟性があり、個々に応じた支援ができている	<ul style="list-style-type: none"> ・活動が固定化しないよう、工作・運動・感覚統合などを組み合わせて実施 ・子どもの状態に応じて内容を臨機応変に変更している 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい支援プログラムの導入 ・職員間でのプログラム共有・標準化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・外部との関わりが少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを主催する体制が整っていない ・日常業務が優先され機会を作れていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な交流活動(児童館・地域施設との連携)から開始 ・年1回程度のイベント開催を検討
2	家族支援(ペアレントトレーニング等)が未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法や時間確保が難しい ・専門的プログラムへのハードルが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講座や資料配布など簡易的な支援から開始 ・保護者ニーズの把握(アンケート等)
3			